

1. 科目名(単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職 (2単位)		3. 科目番号	SSMP2155 SNMP2355 SCMP2155 SBMP2155 SPMP2155 PSMP2455
2. 授業担当教員	姜 壽男			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ(社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法)について理解した上で、ソーシャルワークの概念、基盤となる考え方(原理・理念)を学び、現代に至るまでのソーシャルワークの歴史的な形成過程について学ぶ。</p> <p>さらに、社会福祉士、精神保健福祉士、ソーシャルワーカーそれぞれの倫理綱領を読み解き、ソーシャルワークの価値規範と倫理について考究を行う。</p>			
8. 学習目標	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>			
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>レポート課題及び作成方法については授業にて周知します。</p> <p>予習や探求的な課題に積極的に取り組み、主体的な学習によって理解を確かにすると共に、問題解決力を培うように努めてください。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版,2021年</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説(初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説(中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1.受講態度・参加姿勢 40%(全授業の3/4以上の出席が必要)遅刻(10分程度迄)は3回で1回休みとなる。</p> <p>2.筆記試験とレポート試験を行う。60%</p> <p>○評定の方法</p> <p>1.社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>2.ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>3.ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>4.ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>「ソーシャルワークの基盤と専門職」はこれから社会福祉士・精神保健福祉士の専門職になるために必要な理論や知識修得の基礎となる科目です。そのため、授業への出席、熱意ある参加、ディスカッション・発表、レポート作成などへの積極的な取組みを望みます。授業の進捗状況・理解度に合わせ、順番等を変更する場合があります。</p>			
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)に通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション： シラバス、講義概要等授業内容についての説明	事前学習	シラバスの講義概要及び学習目標について目を通しておく	
		事後学習	ソーシャルワークの基盤と専門職のねらいについてノートにまとめる	
第2回	第1章 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ(1)「社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.2-22 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。	
		事後学習	社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について学習内容をまとめる。	
第3回	第1章 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ(2)「社会福祉士と精神保健福祉士の専門性」について学ぶ	事前学習	教科書 pp.23-35 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。	
		事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士の専門性について説明できるようにする。	
第4回	第1章 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ(3)「社会福祉士と精神保健福祉士に求められるコンピテンシー」について学ぶ	事前学習	教科書 pp.36-50 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。	
		事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士に求められるコンピテンシーについて説明できるようにする。	
第5回	第2章 ソーシャルワークの概念(1)「ソーシャルワークの定義」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.52-67 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。	
		事後学習	ソーシャルワークの定義について学習内容をまとめる。	

第6回	第2章 ソーシャルワークの概念(2)「ソーシャルワークの構成要素」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.68-83 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの構成要素について学習内容をまとめる。
第7回	第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方(1)「ソーシャルワークの原理」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.86-102 を熟読し、重要である点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会正義、人権尊重と権利擁護、集団的責任と多様性の尊重について要点をまとめる。
第8回	第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方(2)「ソーシャルワークの理念(当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援)」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.103-110 を熟読し、重要である点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援について要点をまとめる。
第9回	第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方(3)「ソーシャルワークの理念(エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、原理・理念に基づくソーシャルワーク)」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.111-119 を熟読し、重要である点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョンについて要点をまとめる。
第10回	第4章 ソーシャルワークの形成過程(1)「ソーシャルワークの源流と基礎確立期、発展期」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.120-144 を熟読し、重要である点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの形成過程において、基礎確立期、発展期について要点をまとめる。
第11回	第4章 ソーシャルワークの形成過程(2)「ソーシャルワークの展開期と統合、日本におけるソーシャルワークの形成過程」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.145-169 を熟読し、重要である点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの形成過程において、日本のソーシャルワークの形成過程について要点をまとめる。
第12回	第5章 ソーシャルワークの倫理(1)「専門職倫理の概念と倫理綱領」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.172-187 を熟読し、重要である点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	専門職の概念について要点をまとめる。
第13回	第5章 ソーシャルワークの倫理(2)「倫理綱領とソーシャルワーク実践」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.175-191 を熟読し、重要である点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	倫理綱領を読み返し、その実践と課題について要点をまとめる。
第14回	第5章 ソーシャルワークの倫理(3)「倫理綱領と倫理的ジレンマ」について学ぶ。	事前学習	教科書 pp.192-203 を熟読し、重要である点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	倫理綱領と実践上のジレンマについて要点及び自身の考察をまとめる。
第15回	まとめ：これまでの学習を振り返りその内容を確認、今後の自己課題を明確にする。	事前学習	これまでの学習を振り返り、疑問点を箇条書きにする。
		事後学習	学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の確認を行う。
期末試験			